

みんなで育てる島根の宝

しまねの
教育 × 食
レシピ集

～信頼と絆の共育リレー～

島根県教育委員会



「しまねの教育レシピ集」の活用にあたって

1 趣 旨

「しまねの教育レシピ集」は、学校教育がより充実する、家庭がより楽しく潤う、地域がより元気になることを期待して作成したものです。

学校・家庭・地域が一体となった教育活動が益々要請される中、このレシピ集が、県民の総力で、地域の宝である子どもを見守り育てる環境づくりのきっかけになればと願っています。

2 内 容

「学校編」「家庭編」「地域編」別に、簡単に取り組める例を紹介し、期待する効果、実践方法、事例紹介など、一目で分かるように構成しています。

なお、学校・家庭・地域それぞれが関連し、発展的に取り組めるような事例も紹介しています。

3 そ の 他

島根県教育庁義務教育課ホームページからもご覧いただけるようになっています。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/gimukyoiku/>

感性豊かな子どもを育てるために「しまねの教育レシピ集」を活用しましょう！

平成 19 年 8 月

レシピの目次



I - 学校編

- ① お年寄りとの交流にひと工夫
- ② キャリアスタート! 職場体験の充実
- ③ 教育に新聞を! (NIE)
- ④ 高校生が子どもの学びをお手伝い
- ⑤ 心と体の骨太支援
- ⑥ コントロールで体力アップ
- ⑦ しまねっ子! 元気アップ・プログラムに参加しよう!
- ⑧ 田んぼで学ぶ「食」と「農」～学校田で給食米を～
- ⑨ 地域と守る、私たちの命
- ⑩ ノーテレビ・デーにチャレンジ!
- ⑪ 放課後の学校はパラダイス
- ⑫ 味覚授業
- ⑬ みんなニコニコ食育活動



II - 家庭編

- ① 相手の気持ちに寄り添って
- ② アートでしまねめぐり
- ③ あんしん・ネット大作戦!
- ④ 親子であったか読書
- ⑤ 親子で楽しもう! PTA祭り
- ⑥ 親の職場を子どもが訪問!
- ⑦ 家庭で歴史探訪
- ⑧ 君も大工さん!
- ⑨ 算数・数学。学びんピックにトライ!
- ⑩ ストレスマネジメント (リラクセス法)
- ⑪ 台所が理科室に大変身!
- ⑫ Do! スポーツ
- ⑬ 星空観察～星に願いを～
- ⑭ 学んで楽しい!
- ⑮ ミニ水族館に出かけよう!
- ⑯ 夢の実現に向けて～私のマネープラン～



III - 地域編

- ① 同じ釜の飯を…「通学宿泊体験」のすすめ
- ② オリンピック選手がやってくる!
- ③ 学社融合の仕掛け人～地域教育コーディネーター～
- ④ コーチへの道・コーチの森
- ⑤ サバイバルキャンプに挑戦
- ⑥ 地域であったか読書
- ⑦ 地域統一子どもの活動日! チャレンジスクール
- ⑧ 地域の学校を応援しよう
- ⑨ 地域の自然を私たちが守る!～エコクラブに挑戦～
- ⑩ 地域にありますか? 子どもの居場所
- ⑪ 長期休業! 早ね・早おき・朝ごはん作戦
- ⑫ 挑戦しよう! 親子で食育
- ⑬ なつかしのメロディー
- ⑭ 漂着ゴミを分類すると…
- ⑮ まなぼう、つなごう、しまねの伝統文化
- ⑯ 昔のくらしはどんなくらし～昔の生活体験～

島根のおいしさ
集めてみました!



効果

- 地域の方との関わりを深めることができる。
- 学習の場を超えた交流を得ることができる。

実践方法

- 地域の公民館の支援により、地域協力者（お年寄り）を募る。
- 協力者の指導のもと、植物の植え方等を学ぶ。
- 児童は自分の住む地域の協力者の方宅に2～3人のグループで訪問する。
- 保護者の活動参加も呼びかける。



事例紹介等

- 松江市立城北小学校
 - ① 種いもの植え付けをする。
（公民館で活動）
 - ② プランターに植え付けた種いものを地域協力者宅へ運ぶ。
 - ③ ジャがいもの世話をする常時活動
2週間に一度、子どもたちが地域協力者宅へ訪問し世話をする。
 - ④ ジャがいも学習会
地域の人と一緒にジャがいもについて学習の場を持つ。（学校で）
 - ⑤ 子どもたちからの発信
交流の深化…子どもが学習の発展として学びを伝える。
 - ⑥ 収穫を祝う会の開催
保護者も参画した活動として展開する。
学校・家庭・地域が一体となった取組として開催する。

問い合わせ先

- 松江市立城北小学校
TEL 0852-21-4944



効果

- 職業についての関心が高まる。
- 地域の人とのふれあいの中で社会性が高まる。
- 地域の方の中学生への理解がすすむ。

実践方法

学校教育の総合的な学習の時間等を活用し、職場体験を行う。

(実施のポイント)

● 事前の準備

- 受け入れ先にお問い合わせと可否の確認をする。
- 実習内容の調整(内容、きまり、時間、服装等)をする。

● 事後の活動

- 礼状を作成する。
- 体験のまとめ(報告会等)を実施する。

実践例

● キャリアスタートウイーク
(奥出雲町立仁多中学校)

- ① 受け入れ先の開拓と依頼。
- ② 受け入れ先が求人票を作成する。
- ③ ハローワーク仁多中(求人票をもとに実習先を検討)
自己アピール用紙を作成する。
- ④ 事前訪問(子どもが直接訪問)
自己アピールを渡し、職場の決まり・実習内容実習時間・服装や携行品等の確認。
- ⑤ 職場体験本番(8月～9月の5日間)
- ⑥ お礼状の作成と展示用のまとめを作成し学園祭で展示する。
- ⑦ 職場体験報告会
次年度学習する2年生や、地域の実習先の方を招いた報告会を実施する。

● 参考となるHP

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm
(文部科学省 進路指導・キャリア教育ホームページ)

問い合わせ先

- 奥出雲町立仁多中学校
TEL 0854-54-1125





効果

- 新聞を読むことで、世の中の出来事に関心を持つようになる。
- 人に伝えるために、自分の考えをまとめて発表できるようになる。

実践方法

新聞は、教材として各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間などすべての活動で活用できます。

- NIEコーナー
 - 新聞を読むコーナーの設置
- NIE朝自習
 - 新聞記事の感想を書く。
- 各教科の授業に教材として活用
 - できるだけタイムリーな話題を活用する。
- 新聞スクラップ
 - 生徒が興味・関心の高い記事を切り抜く。
- 教科新聞
 - 各教科の単元やテーマのまとめを新聞形式で
- だれもが「ニュースキャスター」
 - 学級活動で生徒が興味のあるニュースを発表
- 社会に対するメッセージ〈新聞投書〉
 - よりよい社会を築くための提言
- ファミリーフォーカス
 - 新聞記事を話題に家族で議論

事例紹介等

新聞の中には“教材”が転がっている。

- 出雲市立檜山小学校
 - 新聞の中からテーマを選び、親子で話し合い、親の意見も参考にして自分の考えをまとめ、学級で発表する。
 - 児童がスクラップした記事の中から、タイムリーな話題を授業に活用する。

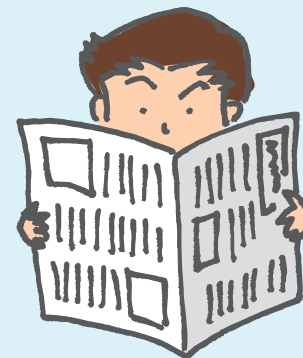
記者になって新聞を作ろう。

- 出雲市立浜山中学校
 - 命をテーマにした「総合的な学習の時間」の学習では、消防署や病院に出かけて、直接インタビューをする。取材後、見出しを考え、5行詩も入れて新聞形式でまとめる。

*新聞記者に直接、新聞の作り方を指導してもらえる制度もあります。（問い合わせは右記NIE推進協へ）

問い合わせ先

- 出雲市立檜山小学校
TEL 0853-63-2615
- 出雲市立浜山中学校
TEL 0853-23-2717
- 島根県NIE推進協議会事務局
TEL 0852-32-3325



効果

- 高校生の指導など新鮮な体験をとおして、ともに学ぶ意欲が高まる。
- 専門的な取り組みから、職業等に関心を持つきっかけとなる。

実践方法

- 高校の施設、教材、動物、水産物などを利用し、高校生が地域の子どもたちに指導したり一緒に活動したりする。



事例紹介等

● 島根県立隠岐水産高等学校

- ① 実習棟で稚魚やプランクトンを見学し、生徒が栽培漁業について小学生に説明する。
- ② ヒラメやマダイを放流する。小型練習船を見学し乗船する。
- ③ かまぼこや野焼きを実習室でつくる。

● 島根県立江津工業高等学校

- ① 総合電気科生徒の指導のもと、簡単なコイルを製作し、回転実験を行う。
- ② 水素と酸素による燃料電池でモーターを回転させ、車を走らせる。
- ③ オリジナルのミニロボットづくりを機械科生徒の指導のもと行う。
- ④ 機械科製作の各種ロボットを近隣小学校体育館で自由に操作してもらう。

※理科、総合的な学習の時間、技術などでの利用が考えられる。

問い合わせ先

● 県立隠岐水産高等学校

TEL 085 12-2-1526

● 県立江津工業高等学校

TEL 0855-52-2120

※各種専門高校では様々な取組が行われている。

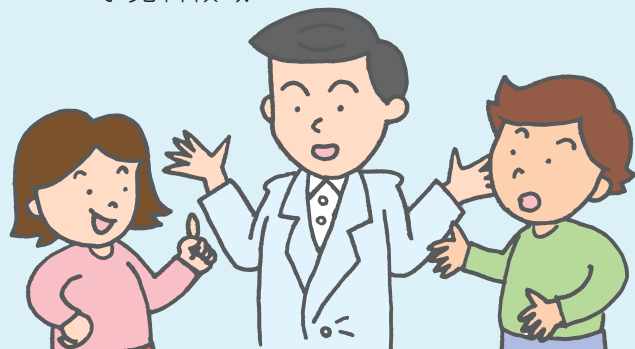


効果

- 学校医にはない専門診療科医師を活用することにより、児童生徒の様々な健康課題を多面的に理解し、適切な対応をとることができる。

実践方法

- 児童生徒支援に医学的視点が必要な場合に専門医を招く。
- 活用方法等は学校、児童生徒の実情にあわせて工夫する。
 - 精神科領域
 - 産婦人科領域
 - 整形外科領域
 - 皮膚科領域
 - 小児科領域



事例紹介等

- 教職員等の研修…タイムリーな対応のために
 - 性的暴力を受けた生徒への支援（校内生徒指導部会へ産婦人科医を招き今後の支援方針への助言と医療機関へつなぐ指導を受ける。）
 - 不登校児童・生徒の親と教職員の懇談会（不登校に悩む保護者と教職員の研修会で、医学的な立場からアドバイスを受け、課題解決の一助とする。）
- 児童生徒への健康教育
 - 整形外科医の講演・個別相談（発育期のスポーツ障害について講演を聞き、その後個別に相談をする。）
 - 皮膚科医のアドバイス（総合的な学習の時間「すこやか健康講座」のアドバイザーとして、化粧、ピアス、体臭、脱毛等について指導を受ける。）

問い合わせ先

- 保健体育課
健康づくり推進室
TEL 0852-22-6145
FAX 0852-22-6767
- * 専門医派遣事業実施要項を参照

効果

- 運動部活動で、体力と技能がアップします。
- 運動部活動の仲間同士で、やる気と連帯感がアップします。

実践方法

- フットワークを高めよう!



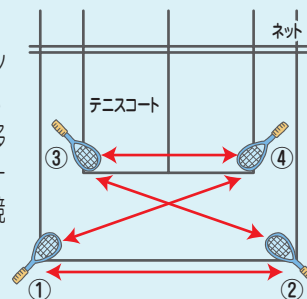
- 動きの正確性をアップしよう!

- ダッシュ力を高めよう!

事例紹介等

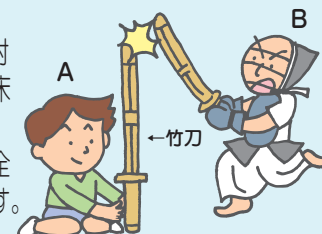
(ソフトテニス)

- コート上の①～④にラケットを置いて、①からスタート。ボールを1個ずつ3個移動させたら③④①(ゴール)へ。かかった時間を競います。



(剣道)

- ① 二人一組を作ります。
- ② Aは正座し、竹刀を床に対し垂直に立てて、柄頭を床に当てます。
- ③ Bは、跳躍素振りを30秒間全力で行い、ヒット数を競います。



(陸上)

- ① 20m加速走+30m走の記録を測定します。
- ② 20m加速走+60m走の記録を測定します。
- ③ A:立ち幅跳び、B:立ち3段跳び、C:立ち五段跳び の記録を測定します。

その他

詳しくは、保健体育課ホームページを御覧下さい。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/>

- 教育庁保健体育課
学校体育・競技スポーツ振興グループ
TEL 0852-22-5426
FAX 0852-22-6767



効果

- 巧緻性などの体力を高めたり、運動の楽しさを知ったりすることができる。
- 記録を伸ばそうとする向上心を育てたり、仲間とかかわることの喜びを感じることができる。

実践方法

- 島根県教育庁保健体育課のホームページからチャレンジカードをダウンロードする。
<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/>
- 10の種目の中から、自分のやりたい種目を選ぶ。
- 体育の時間や休み時間等を利用して挑戦する。
- 上記のホームページから記録申請用紙をダウンロードし、学期末の最高記録を書いて保健体育課にファックス送信する。

提出された記録を整理し、各種目ベスト100をランキング表にまとめ、ホームページで公開します。
記録の公開は、各学期、休業日明けに行います。
また、挑戦者の声も併せて紹介します。

事例紹介等

- 部活動の中で、グループに別れ、各種目に挑戦!
- 体育の体ほぐしの教材として利用!
- 児童会活動の縦割り班活動の中に取り入れ、異学年交流に活用!
- 業間や昼休みの自由遊びの時間に挑戦!
- 学級対抗で記録に挑戦!
- PTAの親子レクに取り入れ、親子交流!
- 校内でランキング表をつくり、みんなで競争!



問い合わせ先

詳しくは、
島根県教育庁保健体育課まで
TEL 0852-22-5426
FAX 0852-22-6767

競うから楽しい!!

「競うこと」は、運動の楽しさの一つです。

勝っても負けても、全力を出し合うことが喜びを大きくします。

誰にでも得意、不得意はあるもの。

一人一人のよさを認め合い、伸ばし合う運動をめざしましょう。



効果

- 食料及び農業、環境問題等、総合的に学ぶことができる。
- 地域を学ぶとともに地域の人々との交流を深めることができる。

実践方法

- PTA等に働きかけ、学校の近くで田んぼを借りる。
- 米作りの取り組み。(手作業と機械作業を両方体験させると効果的)
- 水の管理や害虫駆除、稲刈り等の課業については、地域のボランティアの協力を得る。
- 収穫祭の実施。
 - お世話になった方達を招待し、できたお米を使った料理でもてなすとともにお礼(感謝状等贈呈)をする。
 - 1年間の活動記録(写真、スライド等)を活用し、振り返りをする。
- 残った米を給食用に使用。



事例紹介等

- 松江市立乃木小学校
松江農林高校の田んぼを借りて5年生の社会科の授業で実施。高校生との交流もあり小高の連携も図れる。
- 出雲市立河南中学校
1年生が近くの田んぼを借りてもち米作り。地域のお年寄りとの交流と協力を得る。収穫祭には餅つきを行う。
- 安来市立山佐小学校
1年生から6年生までを縦割り班にわけ、ふるさと教育の一環として展開する。とれた米は、自校給食の食材として提供する。
- 大田市立井田小学校
近くの田んぼを借りて、全校児童及び幼稚園児で米作りを実施。収穫祭には、地域の方を招いて交流。バケツ稲にも取り組む。(2年連続全国表彰)

問い合わせ先

- 松江市立乃木小学校
TEL 0852-21-2032
- 出雲市立河南中学校
TEL 0853-21-0974
- 安来市立山佐小学校
TEL 0854-35-0017
- 大田市立井田小学校
TEL 0855-66-0639

効果

- 子どもの安全についての意識が高まる。
- 地域の子どもの安全(地域の子育て)への関心が高まる。

実践方法

- 安全マップづくり(学校・公民館)
- 地域の「子どもの見守り活動」の実施
- 危険箇所点検(学校・PTAなど)
- 危険箇所の看板づくりや設置など



日原小学校「安全マスコット」

実践例

- 地域と守ろう私たちの命
津和野町立日原小学校
 - 地域の見守り隊の方との対面式
 - 危険箇所調べやマップ作り、危険回避の授業
 - 安全マスコットや安全の看板づくり
 - 子ども110番の家のウォークラリー
 - 学習成果の発表会。
(ふるさと教育フェスティバル)
- 津田地区の安全マップづくり
松江市津田公民館
 - 公民館、地域安全推進委員会、町内会自治会連合会・PTA・交通安全協会・パトロールママの会・交番等が協力して安全マップを作成する。
 - 安全マップはWeb上で公開し、危険箇所の詳細や写真が閲覧できる。

問い合わせ先

- 津和野町立日原小学校
TEL 0856-74-0032
- 松江市津田公民館
TEL 0852-26-4962
アドレス:
<http://www.mable.ne.jp/~tudak/>



津田地域の安全マップ

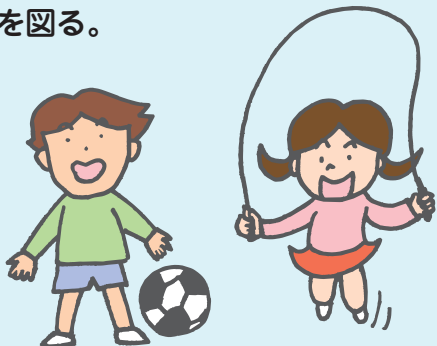


効果

- TVやゲームなどの見方や使い方などを家族で考えたり見直したりするきっかけとなる。
- この取組により、読書・睡眠・家庭学習時間の増加や外遊びの増加などの生活習慣が改善される。

実践方法

- PTAと連携しながら、毎月1日～7日を「ノーテレビ・デーチャレンジ週間」とし、年間を通して、全校・全家庭でノーテレビ・デーを実施する。
- 年度初めと年度末に調査を実施し、その結果を検証する。
- 乳幼児をもつ家庭や地域及び関係機関に取組の様子や調査結果等を広報し、取組の広がりを図る。



実践例

奥出雲町立高田小学校

- 毎月1日～7日をノーテレビ・デーチャレンジ週間として実施。
- 学校での取組。
 - チャレンジ週間実施前に、各学級でメディアが子どもの心身に与える影響について事前指導を行う。
 - 読書活動の推進。
 - アンケートの実施。
- PTA活動を通して。
 - 講演会の実施。
 - 手作りのぼり旗の作成。
 - テレビ画面に貼り付ける垂れ幕の作成。
 - 標語の募集。
- 成果(例)
 - 1年間実施したところ、テレビ視聴時間が25%減り、逆に図書館の図書貸し出し冊数が4倍に増えた。

問い合わせ先

●奥出雲町立高田小学校

連絡先
TEL 0854-57-9010
FAX 0854-57-9010

●雲南市立久野小学校

連絡先
TEL 0854-47-0047
FAX 0854-47-9003

～本物体験を・・・～

蛍を映像で見ると、脳の視覚野が働かず、本物の蛍を見ると、思いやりや人間らしさを司る前頭前野が活発に働くという。

メディアなどのバーチャル体験では、人間らしい感情は育ちにくいということですね。

効果

- いろいろな運動経験をすることができる。
- 運動や遊びのレパトリーを増やすことができる。
- 地域の方との人間関係が広がる。

実践方法

- 放課後運動・放課後遊びの時間を設定する。
- その時間に、地域の方に外部講師として来てもらう。
- 地域の方に、いろいろな運動や遊びを教えるもらう。
- 教えてもらった運動や遊びを自分たちでして楽しむ。



事例紹介等

- 外部講師をお願いをし、年に数回、手軽なニュースポーツを教えてもらう。
- 地域のお年寄りをお願いをし、昔の遊びを教えてもらう。
- 陸上大会や水泳大会のための放課後練習で地域の専門家に指導をしてもらう。
- 一定の期間を決め、外部講師によるスポーツ教室を開催する。



体力向上に向けて

- 休日に校庭、体育館の開放をし、親子活動に利用してもらう。
- スポーツ少年団等に入っていない子のためのスポーツ教室の開催。
- 第3日曜日「家庭の日」の親子活動の奨励。
- 学校保健委員会を活用した体力づくりの意識啓発。
- 公民館活動への積極的参加と学校からの要望の申し入れ。
- 長期休業中の運動の奨励（ラジオ体操、朝マラソンなど）。

効果

- 子どもたちが本来の味覚を取り戻すことができる。
また、食への正しい理解を深めたり、食を選択する能力を高めたりすることができる。

実践方法

教室にプロの
シェフが
やってくる!



- 「しまねリトルシェフ」と日程調整
- シェフと事前打合せ
実施時間は、味覚授業が1単位時間程度、調理実習を入れると、2時間程度。
- 味覚授業の基本は、酸味、塩味、甘味、苦味の基本味に日本独特のうま味を加えた5つの味を実感させる。
- シェフ手作りのタルトなどで、甘味と酸味などの味覚の組み合わせや微妙な違いなどをクイズ形式で学ばせる。

事例紹介等

津和野町立津和野小学校

- まず初めに、シェフが基本味を説明。
- いくつかの基本味を組み合わせたタルトやキッシュで味覚当てクイズに挑戦。
- 「おいしく味わう」というのは、五味だけでなく、五感(匂い、手触りなど)も関係していることを学ぶ。
- 児童が考えた地元産を中心として考えたメニューを調理。(上記味覚の授業のオプションとして時間があれば実施)
*夏祭りの花火をイメージした前菜etc
- みんなで試食。

手作りマヨネーズも
作れるよ。

問い合わせ先

- しまねリトルシェフ
代表 赤松 健二氏
TEL 0856-72-2778
- 津和野町立津和野小学校
TEL 0856-72-0193
FAX 0856-72-1435
- 斐川町立中部小学校
TEL 0853-72-0515
FAX 0853-72-7657



効果

- 「家庭とどのような連携を図ったらいいのか」「食育の重要性はわかっているが、具体的な実践はどうしたらいいのか」といった現場の悩みに応えることができる。

実践方法

- 家庭との連携を深めるために、食育をテーマとしたPTA活動を展開する。
- 効果的な食育活動を展開するために、体験活動を取り入れる。



事例紹介等

実践例1：益田市立美都中学校・吉田小学校の取組

- PTA役員・教員による劇団「竹の子」の結成。食育をテーマとした家庭の様子を劇化し、PTA総会・講演会導入劇として発表。また、ビデオ化し、保健指導の導入に使用。
- 地区民生委員会・懇談会での実態報告や講話。
- 『保護者と子どもの朝食体験』～中学1年～
- 「マイ茶碗でブレックファースト」
*自分で作った茶碗で食べる朝食は最高!

実践例2：松江市立八雲小学校の取組。

- 『子どもだけで作る弁当の日』

ねらい：自分の食事を自分の手で作る能力をつける。



- ステップ1 夏休みに家庭で2品の料理作り。
ステップ2 計画表作成。(家庭科の教科書を参考に)
ステップ3 計画に沿って弁当作り～「手作り弁当の日」を設ける。

問い合わせ先

- 益田市立美都中学校
TEL 0856-52-2525
FAX 0856-52-2191
- 益田市立吉田小学校
TEL 0856-22-2385
FAX 0856-22-2386
- 松江市立八雲小学校
TEL 0852-54-0009
FAX 0852-54-0392

その他の食育関係の資料提供は、保健体育課健康づくり推進室HPに掲載。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku>

効果

- しっかり話を聞くことで、その人の気持ちが整理され苦しみやつらさを軽くできる。
- しっかり話を聞くことで、その人にやる気や勇気が湧いてくる。

実践方法

● 話の聞き方～カウンセリングの技法より～

※まずは、相手の方に顔を向ける。
話が始まったら…

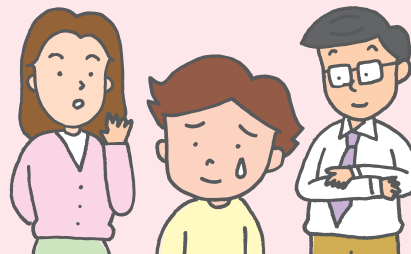
- ① 相手は今どんな気持ちなんだろうと、相手の気持ちに注意を向ける。
- ② うなずいたり相づちを打つ。
- ③ 相手の言葉をくり返したり、話の内容を要約してみる。
- ④ 疑問に感じたところは質問する。
でも、話の流れは妨げないで。
- ⑤ 「あなたの気持ちは…なんですね。」とフィードバックして、相手の気持ちを確認する。
- ⑥ 評価したり非難したりはしない。



相手の白いボールを、白いボールのまま投げ返すような聞き方を目指そう！

事例紹介等

- どんな人にも悩みはあるのです。
 - 悩みを持つことは恥ずかしいことじゃないって伝えましょう。
- 悩みを一人で抱え込ませない。
 - 聞くは「効く」、話すは「放す」につながります。しっかりと聞いてあげると、悩みを少しずつ放していけます。
- しっかり聞けると、喜んでもらえる。
 - 喜んでもらえる、自分もうれしくなりませんか？
- 喜びも悩みも分かち合おう。
 - 一緒に喜んでもらえる喜びは2倍！
悩むつらさも分かち合えば1/2。



問い合わせ先

気軽に相談してみよう。

- 島根県立松江教育センター
TEL 0852-22-5862

E-mail
matsuekyoikusen@pref.shimane.lg.jp

- 島根県立浜田教育センター
TEL 0855-23-6784

E-mail
hamadakyoikusen@pref.shimane.lg.jp

※参考になるHP

- 島根県相談業務相互支援ネットワーク相談窓口の案内
<http://www2.pref.shimane.jp/kouhou/soudan/>

効果

- 見たり、作ったり、描いたりすることを通して心豊かになれる。
- 自分なりに表現することへの意欲が高まる。
- 地域の「ひと・もの・こと」に出会い、島根のすばらしさがみつかる。

実践方法

美術館などで開催される
ワークショップなどに
参加してみませんか。



- 季節にあわせ、島根の自然の材料で、ものづくりが楽しめます。
 - ゲストアーティストやスタッフにアドバイスを受け、工夫しながらものづくりに挑戦できます。
 - 「島根のすばらしい自然・ふるさと」を体感し、感動したことを絵や作品に表すことができます。
- 美術館では、ワークショップ以外に出前授業やアートスクール等を実施しています。

事例紹介等

- 島根県立美術館
 - オープンスタジオでワークショップ。
(8月:ポンポン型染め手ぬぐい職人)
- 浜田市世界こども美術館
 - ホリデー創作活動。(8月:星のしずく小瓶)
- 石正美術館
 - 夏休み子ども美術教室。(木工教室)
- 島根県立芸術文化センター<グラントワ>
 - 工作教室。(プラモデル・ダンガンレーサー)
- しまね海洋館<アクアス>
 - アクアスクール。(日曜講座:海の生き物教室)
 - サマースクール。
- 島根県古代出雲歴史博物館
 - ワークショップ。(古代グッズ手作り工房)
 - ペーパークラフト。(銅鐸・土偶づくり)ダウンロード可。
- 各地のいろいろなイベントが検索できます。
島根県観光振興課HP 観光ナビ

問い合わせ先

- 島根県立美術館
TEL 0852-55-4700
<http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/sam/ja/index.html>
- 浜田市世界こども美術館
TEL 0855-23-8451
<http://homepage2.nifty.com/hama-b/>
- 石正美術館
TEL 0855-32-4388
<http://fish.miracle.ne.jp/sekisho/>
- 島根県立芸術文化センター<グラントワ>
TEL 0856-31-1860
<http://www.grandtoit.jp/>
- しまね海洋館<アクアス>
TEL 0855-28-3900
<http://www.aquas.or.jp/>
- 島根県古代出雲歴史博物館
TEL 0853-53-8600
<http://www.izm.ed.jp/>
- 島根県観光振興課HP 観光ナビ
TEL 0852-22-5292
<http://www.kankou.pref.shimane.jp/>



効果

- 家族で話し合うことで、携帯電話やインターネットなどの責任を持った使い方について考えることができる。
- 子供たちが困ったときや悩んだときに独りで悩まず大人と一緒に考えることができる。

実践方法

携帯電話・インターネットについて家族で話し合って我が家のきまりを決めよう！

● 決める前に

- インターネットや携帯電話の利点と欠点を考えてみよう。
- 携帯電話やインターネットについて家族みんなの思いを出し合ってみよう。

● 今までの話し合いをもとに、我が家の決まりを決めよう。



事例紹介等

我が家のきまり(例)

- 時間と場所に気を付けて使う。
パソコン、携帯中毒にならないこと。
- 自分の身は自分で守る！
迷惑メール、チェーンメールは削除する。
危険なサイトにはアクセスしない。
- 自分がされて嫌なことは相手にもしない！
人を傷つけるようなメールや書き込みをしない。
- カメラ付き携帯は著作権・肖像権の侵害に注意する！
書店などで雑誌や商品の写真を撮ったりしない。
- 気軽に個人情報を書き込まない！
悪用されることもあるので、自分の個人情報、ましてや家族や友人の個人情報を安易に書き込まない。
- 困ったときは周りの大人に相談する！
ネットの向こうには必ず人がいることを忘れずに、困ったときや悩んだときには人生経験を積んだ大人の考えを聞く。

フィルタリングソフトの利用

フィルタリングソフトを使うと情報を受け取るがわで有害情報を表示させないようにできます。

(参考:「e-ネット安心講座基本テキスト」e-ネットキャラバン運営協議会)

問い合わせ先

～困ったときには～

- 警視庁インターネット安心安全相談
<http://www.cybersafety.go.jp/>
- 島根県警察本部県民相談課
TEL 0852-31-9110
- 日本データ通信協会迷惑メール相談センター
<http://www.dekyo.or.jp/soudan/index.html>

～参考資料～

- 著作権情報センター
<http://www.cric.or.jp/>
- e-ネットキャラバン
e-ネット安心講座 通信業界キャラバン公式Webサイト
<http://www.fmmc.or.jp/e-netcaravan>
- フィルタリング情報ページ
<http://www.iajapan.org/rating/>



効果

- 豊かな心が育つ。
- 想像力や感性が豊かになる。
- 語彙力や読解力が身に付く。
- 親子の絆が深まる。

実践方法

- 親子読書で全国一周
 - 読んだ本のページを親子で記録し、合計のページ数が一定の数に達したら日本地図に塗っていく。
- 例)全国地図に、親子で50ページ読んだら1つの県を塗っていく。
※親子で話し合っ、読む本やページ数を決めましょう。

その他

- 親子読書感想文。
- 夏休み20分親子読書。
- 親子読書会の開催。
- 親子読書カード。



事例紹介等



問い合わせ先

参考となるHP

- 子どもの読書活動推進ホームページ
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/
- 島根県学校図書館協議会ホームページ
<http://www.commakagi.ne.jp/tosyokan/>

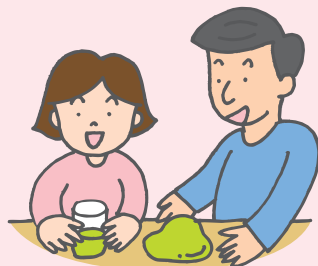


効果

- PTA会員相互の親睦、交流がすすむ。
- 異学年交流や親子でのふれあいがすすむ。

実践方法

- 前日まで
PTAが主催して親子活動やバザーの企画と準備を行なう。
- 当日
親子での共同作業をしてふれあいを深める。
(取組例)
 - スライムづくり。
 - 紙粘土づくり。
 - 新聞工作。
 - エコロジーグッズ製作。
 - 簡単うどんづくり。
 - わくわくクッキングなどの親子活動。
 - 保護者によるバザーと喫茶コーナー。



事例紹介等

- ふれあいフェスタ
松江市立竹矢小学校
13:00～15:00
 - PTAの研修部が中心となり全体の企画。学年部ごとに親子活動を企画運営。
 - 一部で親子活動。二部で飲食やリサイクル品のバザーを行う。
- 川小まつり(学習発表会後に実施)
川本町立川本小学校
13:00～16:00
 - ベルマーク部、環境整備部、リサイクル部、学習支援部、親子で農作業部、親子スポーツ部、親子野外活動部、親子手作り教室部、親子クッキング部、親と教師の学び部ごとにコーナーを設け、子どもたちや参加者が自由に各コーナーを楽しむ。

問い合わせ先

- 松江市立竹矢小学校
TEL 0852-37-0535
- 川本町立川本小学校
TEL 0855-72-0329



効果

- 子どもに親の働く姿を見せ、子どもの親に対する理解が深まる。
- 親子のふれあいやコミュニケーションが深まる。

実践方法

夏休み中の半日を利用する。
夏休みの社会科見学としても有効。

- 親子で一緒に通勤する。
- 職場を見学する。
 - 親の働いている姿を見る。
- 職場案内をしてもらう。
 - 職場内のいろいろな施設を見て回る。
 - 探検のやり方の説明を聞く。
- 職場の人に仕事についてお話しをしてもらう。
 - キャリア教育を深める。
- 事後。
 - 夏休みの宿題として見学のまとめをする。



事例紹介等

夏休みファミリーデーin教育庁

- 親子で一緒に通勤しよう。
 - 各課で子どもの対応をする。
 - 父親や母親の働いている姿を見る。
- 教育庁の探検をしよう。
 - 探検のやり方の説明を聞く。
 - 教育庁内を探検する。
 - 名刺を用意しておき、名刺交換をする。
 - 探検しながらいろいろな課での説明や話を聞く。
 - 質問したりクイズに答えたりする。
- 教育長とお話しをしよう。
 - 教育長の話しを聞いたり、質問をする。
 - 記念撮影。
- オプション(午後)
 - 松江城ぴかぴか体験。
 - 県立美術館見学。

問い合わせ先

- 島根県教育委員会
(生涯学習課)
TEL 0852-22-5428

効果

- ふるさとの歴史を知り、ふるさとを築いてきた人々の努力にふれることができる。
- ふるさとへの愛着や誇りをもつことができる。

実践方法

学校での学習をもとに、家族とのふれあいが深まるような長期休業中の自由研究の一つとして次のような課題を提案してみよう。

- 家族で歴史探訪。(タイム・スリップ)
 - 授業で学んだことを、島根県内や県外の歴史博物館などを訪ねて体験。
 - 古代生活や道具づくりなどの歴史体験にチャレンジ!!
 - 思い出に残るスナップで写真集づくり。
 - 体験したり調べたことをまとめる。家族の人にも一言感想を書いてもらう。
 - 休み明けに自由研究として学校に提出。



事例紹介等

島根県内で歴史展示や体験イベントを催している主な博物館

- 島根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館
- 島根県埋蔵文化財調査センター
- 島根県立古代出雲歴史博物館

歴史体験の開催例(時期は夏休みが多い)



歴史体験の開催内容や時期は、それぞれの博物館にお問い合わせください。

世界に輝いた銀の町 石見銀山遺跡 — 2007 世界遺産登録 —

すごいぞ!石見銀山の世界的価値。

戦国時代から江戸時代にかけて、銀の国「日本」の中心となり、アジアとヨーロッパの交流の原動力となった。今も鉱山町、街道、港町の全体像が見れる貴重な遺跡。

<http://www2.pref.shimane.jp/ginzan/>

問い合わせ先

- 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館
TEL 0852-23-2485
<http://www.yakumotatu-fudokinooka.jp/index.html>
- 島根県埋蔵文化財調査センター
TEL 0852-36-8608
<http://www.pref.shimane.jp/section/maibun/maibun.f/maibu01.html>
- 島根県立古代出雲歴史博物館
TEL 0853-53-8600
<http://www.izm.ed.jp/>



- 参考文献の紹介
「ふるさと読本 古代のしまね」
「いにしへの島根ガイドブック」
(以上、島根県教育委員会発行)
「なぞとふしぎの古代出雲」
(古代出雲歴史博物館発行)
- 参考となるHP
島根県HP「古代神話とタイムトラベル」
http://www6.pref.shimane.jp/kodai/top_menu.html



効果

- 家族で楽しく、工作活動をすることができる。
- 木材を使うことにより地球温暖化防止に貢献できる。

実践方法

● 自分の生活に必要な作品をつくろう！

- 家庭でいらなくなった板材や角材で製作する。
- 安価な木材を買ってきて製作する。

工程

構想図(形・大きさ・構造など)



けがき(木材に必要な線を入れる)



材料取り(のこぎりなどで切る)



部品加工(かんななどで形を整える)



組み立て(くぎ打ちをする)



塗装



完成



事例紹介等

● 家庭で簡単にできる木材加工。

スライド式本立て



CD&MDラック



● 出雲科学館の木工教室。

● 三瓶こもれびの広場木工館
木材加工体験。● 島根県立緑化センターでの木材加工体験。
※加工のための木工室や木工具を借りることが出来ます。

問い合わせ先

● 構想の参考HP

<http://www.mable.ne.jp/~nagachan/>

● 参考となるHP

★ 全日本中学校技術・
家庭科学研究会

<http://www.ajgika.ne.jp/>

● 出雲科学館の木工教室

http://www.izumo.ed.jp/kagaku/frame_news.htm

● 三瓶こもれびの広場木工館

<http://fish.miracle.ne.jp/komorebi/>

● 島根県立緑化センター

<http://pref.shimane.jp/section/ryokuka/>



効果

- 算数・数学を楽しく学び、学習意欲を向上することができる。
- 競い合ったり、協力し合って問題にチャレンジすることを通して、家族や友だちとのふれあいが高まる。

実践方法

算数・数学の大会等の問題に挑戦してみませんか!!



学びんピックキャラクター「マナビィ」

- 算数、数学は万国共通の種目です。持ち前の思考力や独創力を競う楽しい問題を解いてみましょう。
- 家族や友だちと競争したり、協力したりするのもよいでしょう。
- 学校などで、ミニ大会、オリジナル大会を開催するのもよいでしょう。

事例紹介等

- 第16回算数オリンピック大会
 - 平成19年6月17日に大会が実施されました。
 - 問題や速報がHPに載っています。
- 第11回ジュニア算数オリンピック大会
 - 平成19年6月17日に大会が実施されました。
 - 問題や速報がHPに載っています。
- 第8回広中杯全国中学生数学大会
 - 平成20年1月14日に予選があります。
- 第4回ジュニア広中杯
 - 平成20年1月14日に全国大会があります。



問い合わせ先

*詳しくは文部科学省HP
「学びんピック」認定大会一覧を参照
<http://manabipick.mext.go.jp/info/purpose.html>



効果

- ストレスを乗り越えることで、少しずつでも心が強くなれる。
- 自分の気持ちをモニタリングすることで、自己理解が深まる。

実践方法

- ストレスをためないようにするためには。

- こんな方法も試してみよう。

- 漸進性弛緩法。
(ぜんしんせいしかんほう)



事例紹介等

- 朝昼晩、バランスよい食事をとろう。
 - 家族や友人と一緒にとるなど、食事が楽しい時間になるよう工夫しよう。
 - 睡眠をしっかりとろう。
 - ゆったりした気持ちの中で眠りにつけるよう、香りなど部屋の環境に気をつけよう。
 - リラックスできる時間を確保しよう。
 - 入浴やスポーツ、音楽など自分なりにリラックスできる時間を確保しよう。
 - 身の回りの環境を変えてみよう。
 - 気分転換に部屋の片付けや掃除などをやってみよう。
-
- 漸進性弛緩法(ぜんしんせいしかんほう)をやってみよう。
 - ① 手首にぐっと力をいれ、力を抜く。
 - ② 足首にも力を入れ、力を抜く。
 - ③ ①、②ができたなら両手両足を一緒にやってみよう。
 - ④ 両手両足と一緒に、今度は胸、腰、顔と順番に力を入れて。そして順番に力を抜いてみよう。

問い合わせ先

気軽に相談してみよう。

- 島根県立松江教育センター
TEL 0852-22-5862
E-mail
matsuekyoikusen@pref.shimane.lg.jp

- 島根県立浜田教育センター
TEL 0855-23-6784
E-mail
hamadakyoikusen@pref.shimane.lg.jp

※参考になるHP

- 島根県立心と体の相談センター
<http://www.pref.shimane.lg.jp/kokoro/>
(ストレス関連サイト)

効果

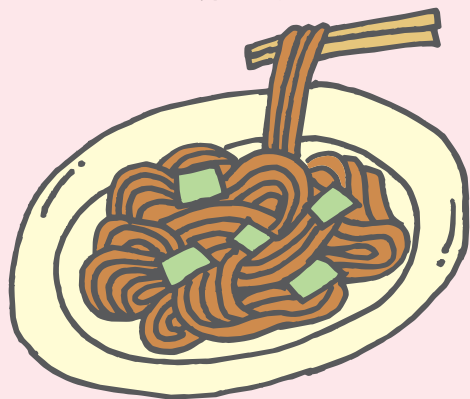
- 水溶液の性質によって色が変わる現象を調理の一環として実験することを通して、「科学」を身近に感じることができる。

実践方法

● 不思議な焼きそばを作ろう。

～色が変わるのに、食べられる焼きそば～

- メニュー1 紫キャベツ焼きそば
- メニュー2 カレー焼きそば



事例紹介等

● 紫キャベツで作る焼きそば。

<作り方>

- ① フライパンで、ざく切りや千切りにした紫キャベツをコップ半分ほどの水と炒める。
- ② 火が通ったところで中華そばを入れる。…青くなる。
- ③ ソースをかける。…元の黄色い麺になる。(かけすぎに注意)

● カレー粉で作る焼きそば。

<作り方>

- ① 中華そばにカレー粉を混ぜて炒める。…赤くなる。
- ② ソースをかける。…黄色(カレー色)になる。(かけすぎに注意)

ワンポイント・メモ

なぜ色が変わるのかな？
調べてみよう！

ヒント

「アントシアン」
「クルクミン」
「かん水」
「アミノ酸」

インターネットで「紫キャベツ」「焼きそば」などのキーワードで検索すると、色々なホームページで紹介されています。

効果

●自分で楽しみたいスポーツを探し、体験・参加できる。

実践方法

スポーツイベントや
大会に参加してみたい。

どんなイベントがあるか探す。

定期的にスポーツをしたい
習ってみたい・上達したい。

スポーツができるクラブ・教室を探す。

事例紹介等

市町村などで開催されているスポーツイベント

誰でも楽しく参加できるスポレク広場

総合型地域スポーツクラブ

「誰でも」
「いつでも」
「世代を超えて」
「好きなレベルで」
「いろいろな」

スポーツを楽しめる
地域のコミュニティ

県立体育館
少年コース
卓球・親子広場
バドミントンなど

県立水泳プール
キッズスイム
スポーツ体験
など

県立体育施設
の
スポーツ教室

県立武道館(松江)
柔道・剣道
弓道・なぎなた
レスリングなど

県立石見武道館(浜田)
柔道・剣道
居合道・レスリング
など

県立サッカー場
キッズサッカースクール
少女サッカースクール
など

その他

スポーツ情報満載!

●しまね広域スポーツセ
ンターホームページへ
URLは<http://cgi.s-kouiki.jp/>



- イベントカレンダーや新着情報で確認。
- 県立体育施設ともリンクしています。

690-0016
島根県松江市上乃木十丁目4番2号
島根県立水泳プール内
TEL:0852-60-5053
FAX:0852-26-4733
E-mail: shimaneken@japan-sports.or.jp

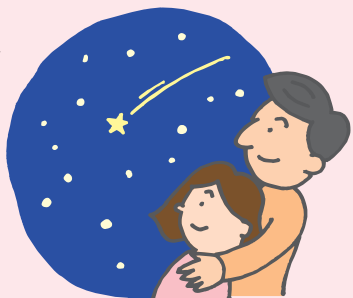


効果

- 落ち着いて夜空を眺め、心を癒やす。
- いつでも見られそうで見ていないものを見た感動を、家族で共有することができる。

実践方法

- 自分の眼だけで見てみよう。
 - 星座
 - 流れ星
- 双眼鏡を使って見てみよう。
 - 散開星団
 - 月
 ※双眼鏡は、できるだけ三脚などに固定しよう。
- 天体望遠鏡で見てみよう。
 - 星雲
 - 星団
 - 月
 - 惑星
 ※太陽を見るときには、専用の器具を使いましょう。



事例紹介等

下記の施設等では、観測会などを行っています。

- 三瓶自然館「サヒメル」(大田市山口町)
- 日原天文台(津和野町日原)

※これらの施設や天文台以外でも、地元の天文同好会などが観察会を企画していることがあります。問い合わせてみましょう。

<ミニ情報>

- 8月13日前後の夜は、流れ星が多く見られます(ペルセウス座流星群)。
- 今年は、8月28日(火)の夜に皆既月食が見られます。

<コラム>

人類が初めて月面に降り立ったのは、日本時間1969年(昭和44年)7月21日の早朝、アメリカのアポロ11号宇宙船のアームストロング船長でした。

船長は、「この一歩は小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍である」との言葉を無線で地球に伝えました。

問い合わせ先

- 三瓶自然館「サヒメル」
TEL 0854-86-0500
- 日原天文台
TEL 0856-74-1646

多くの天文同好会がHPを作っています。「天文同好会」などのキーワードで検索してみましょう。



効果

- 家族や友だちと一緒に活動することにより、家族や友だちのすばらしさを見つけることができる。
- 普段できない遊びを通して、「学ばって楽しい」と感じることができる。

実践方法

学校以外で
家族や友だちと楽しく
学んだり遊んだりできる場は
ないでしょうか？



事例紹介等

わくわく! ときどき!



- 例
- おもしろ理科クラブ
 - 救え!! 桃太郎〜ときどきウォークラリー
 - なかよしウォークラリー
 - 世界に1つしかないシールづくり
 - たのしい算数教室
- などのコーナーがあります。

平成19年度のセンターまつり!

- ◆ 期日 平成19年11月3日(土)
 - ◆ 場所 松江教育センター
- しまね教育の日のイベントとして実施します。
参加してみましょう!!

問い合わせ先

- 松江教育センター
学校・教職員支援コーナー
TEL 0852-22-5065
http://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_ec/



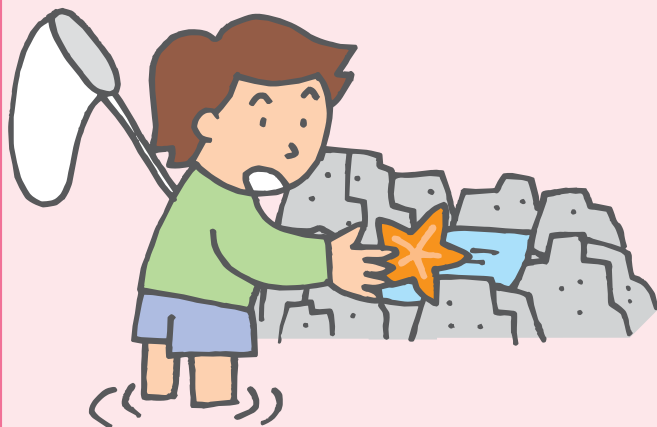
効果

- 教科書や図鑑に載っている生き物を見たり触れたりすることを通して、自然体験をすることができる。
- 比較的短時間でもできて、家族でも一緒に楽しむことができる。

実践方法

- 近くの海岸の岩場や川辺で楽しめることってないのかな？

※岩場には「潮だまり水族館」、小川や川辺には「せせらぎ水族館」があるよ！



事例紹介等

- イソギンチャクに触ってみよう。
海岸の岩場(潮だまり)へ行ってみよう！
かわいいイソギンチャクがいっぱいいるよ！
※新聞などで干潮の時刻を調べてから行こう。
- 野生のメダカやボウカを採集して、飼ってみよう。
近くの川辺へ行ってみよう！ 水際の草の根本や浅い河原には、小さい水槽でも飼える魚がいるよ！
※雨の降った後は増水するので、避けましょう。

問い合わせ先

- 実践例問い合わせ先
浜田市教育委員会生涯学習課
「ふれ合い・学び合い・支え合い」
地域活性化推進事業
～ふるさと教育の一環として～
TEL 0855-22-2612

<参考文献>

- ふるさと島根の環境(小学校用、中学校用)→各学校にあります。



効果

- 家計簿を一緒につけることで、望ましい金銭感覚が身に付く。
- お金の大切さやものの価値がわかり、将来の目標や夢実現に向けて適切な家計の管理や資金の管理ができる力が身に付く。

実践方法

子どもと一緒にお金の大切さについて考える。

家計簿を一緒につけることで、望ましい金銭感覚を身に付けさせる。

- 毎月の支出を調べる。
- 家計簿をつけることで、お金の大切さを知り、望ましい金銭感覚を身に付ける。
- 20歳までにどれくらいお金がかかるのかを一緒に調べ、話し合う。

一発展一

お金を得るには、
どんな仕事を
したいのかな。



事例紹介等

例

自分年表を作成しよう。

- 入学時から、卒業時までにどれくらいお金がかかるのかを調べ、年表形式でまとめる。

- 入学時にかかった費用
- 給食費
- 教材費
- 修学旅行費用 等

～作成例～

7歳	入学時	〇〇〇〇円	
	給食費	〇〇〇〇円	
	教材費	〇〇〇〇円	計〇〇〇〇円
8歳	…		
12歳	給食費	〇〇〇〇円	
	修学旅行費用	〇〇〇〇円	
			計〇〇〇〇円

問い合わせ先

- 島根県金融広報委員会
(日本銀行松江支店内)
TEL 0852-32-1509

【参考】

URL:<http://www.shiruporuto.jp>

- 金融教育ガイドブック
一学校における実践事例集一
(金融広報中央委員会)
- 金融教育プログラム
一社会の中で生きる力を育む授業とは一
(金融広報中央委員会)



効果

- 子どもに集団での生活体験を積むことにより、コミュニケーションの力や規範意識が高まる。
- 地域で子どもを育てる機運が高まる。

実践方法

公民館等で子どもたちが寝食を共に生活し、そこから学校への通学も行います。保護者や地域のボランティアが活動を支援します。

●運営ボランティアを組織

PTAや公民館が主体になり、地域の関係団体に協力を要請し、ボランティアを組織化します。

●会場の確保と日程の調整

布団等は持ち寄ったり、貸し布団を使います。お風呂は近所でもらい湯をします。保護者へは活動の内容、経費、保険等について十分な説明をします。

●事業実施

- ボランティアはなるべく口や手を出さないようにします。(協働の立場で)
- もらい湯をする家庭への礼儀やあいさつはきちんとするようにします。

●事業のまとめ

事業内容をまとめて次年度につなげます。

実践例

●東出雲町揖屋地区・意東地区

- PTAが実施主体になって5泊6日の通学合宿を実施する。
- 老人福祉センターや意東公民館を会場に概ね10月～11月に実施する。
- 自ら考え判断することなど、子どもの主体性や協力する姿勢などを大切に展開する。保護者が中心となって企画やサポートを行う。

●出雲市逢坂コミュニティセンター

- 逢坂コミュニティセンターが主体となり小学5・6年生を6泊7日の通学宿泊体験を6月後半に実施する。
- 家庭と同じような日常生活を、子どもたちの自主的な力で行う。
- コミュニティセンター職員やPTA・更生保護女性会など地域のボランティアがサポートする。
- 集団生活の中で、子どもの社会性や主体性をのばす取組として定着している。

●参考となるHP

HP上の検索エンジンで「通学合宿」で検索すると全国のたくさんの取組がヒットします。

問い合わせ先

- 東出雲町教育委員会
社会教育グループ
TEL 0852-52-6713

- 出雲市逢坂コミュニティセンター
TEL 0853-53-5529





効果

●トップアスリートが直接指導してくれる。＝ワクワク・感動！→スポーツisワンダフル。

実践方法

あこがれの選手と一緒に
スポーツしてみたい。

トップアスリートがあなたの学校や
クラブ・まちにやってきます。

事例紹介等

- スポーツ選手ふれあい指導事業
「子どもの体力向上キャンペーン」の一環として、トップアスリートを講師に招き、全国各地でスポーツ体験教室が開催されています。

島根県の実績

年度	種目	講師	実施主体
15	バスケットボール	岡山 恭崇	石見町教委
	野球	福岡 納	宍道町教委
16	バレーボール	藤田 幸光	佐田町教委
17	サッカー	向島 建	NPOスポーツ振興21
	水泳	萩原 智子	隠岐の島教委
	陸上	苅部 俊二	邑南町教委
18	陸上	青戸 慎司	安来市教委／飯梨小学校
	クロスカントリースキー	今井 博幸	島根県スキー連盟
	バドミントン	宮村 愛子	リバーサイドSC
19	サッカー	宮沢ミシェル	大田市教委／長久小学校
	バスケットボール	塚本 清彦	おおの輪・和・ワーククラブ
	陸上	苅部 俊二	島根県陸上連盟／大田市陸上連盟

トピックス

- リバーサイドスポーツクラブに
オリンピック選手がやってきました！

(財)日本体育協会・スポーツ選手ふれあい指導事業の一環で、平成19年2月25日(日)リバーサイドクラブ(出雲市)へバドミントンの指導に宮村愛子さんがやってきました。宮村さんは熊本県出身で、小学2年生のころから競技をはじめ、日本のトップ選手として中学、高校、大学、実業団で活躍され、1996年のアトランタオリンピック日本代表として活躍されました。



午前中、出雲体育館で開かれた教室には、出雲市や松江市、雲南市などから約80名の小学生の参加がありました。教室では、技術のレベルに応じて、宮村さんが各コートを巡回しながら一人々にアドバイスしました。また、教室の締めくくりにはスマッシュをはじめさまざまな打ち方を披露していただき、小学生はもとより、引率の保護者の方々の視線は元オリンピック選手のテクニクに釘付けとなっていました。教室が終わると、たくさんの子どもたちが宮村さんを囲んでサインをお願いしていました。

お問い合わせは
島根県教育庁 保健体育課
生涯スポーツ振興グループまで
TEL 0852-22-5423/FAX 0854-22-6767

効果

- 学校から地域へ、地域から学校へのコーディネートをしてくれる。
- 地域づくりを手伝ってくれる。

実践方法

● 内容について

学校から地域、地域から学校、地域から地域へ相談してみたい事があった時…。

例) 学校…読み聞かせボランティアを探している。
地域…学校の生徒や先生に参加してもらいたい。ネットワーク会議を開きたいがどうすればよいか。



実践例

- 学校支援ボランティアの組織づくり。
- ふるさと教育推進のためのコミュニティセンター活動パネル展示事業。
- 放課後子どもプラン運営委員会の設置。

(例えば…)

- 学校支援ボランティアを探しているが、誰に相談したらいいのかわからないので聞いてみた。
- 地域にある社会教育施設や、その利用方法がわからないので聞いてみた。
- 地域の伝統行事について学習したいが、代表の方の連絡先がわからないので聞いてみた。

問い合わせ先

- 島根県教育庁
生涯学習課
TEL 0852-22-5429

効果

- 資格を取り、指導者として活躍できる・指導者を捜して習うことができる。

実践方法

- 指導者になりたい。
- 指導者としてレベルアップしたい…。

スポーツ指導者養成の講習会に参加する。

- 指導者を探している。
- 指導者としてお手伝いしたい…。

スポーツ指導者情報をゲットする。

問い合わせ先

講習会を実施している主な団体

体育指導委員、地域のスポーツ指導者など。

- 島根県教育委員会 保健体育課

TEL 0852-22-5423

URL:<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/>

公認スポーツ指導者、スポーツ少年団指導者など。

- (財)島根県体育協会

TEL 0852-21-5388

URL:<http://www15.ocn.ne.jp/~sasa/>

レクリエーション、インストラクターなど。

- 島根県レクリエーション協会

TEL 0852-33-2211

URL:<http://shimane-rec.netlab.jp/>

トレーニング指導士、スポーツプログラマーなど。

- 島根県体育施設協会

TEL 0852-22-5712

ホームページで指導者情報を掲載しています。

- しまね広域スポーツセンター

TEL 0852-60-5053

URL:<http://cgi.s-kouiki.jp/>

事例紹介等

講習会風景



ホームページで指導者情報を掲載しています。





効果

- 共同生活をとおして、他人を思いやる心やたくましさが育つ。
- 自ら考え、行動できる資質や能力、自然愛護等の感性が育つ。

実践方法

- 事業実施団体による事前準備
(教育委員会、公民館、子ども会等)
- 参加者の募集
(学校単位、子ども会、フリー等)
- 事前研修会の開催
(参加者研修、スタッフ研修)
- サバイバルキャンプの実施
- 事後研修会の開催
(スタッフ反省会、点検評価)



事例紹介等

- アドベンチャーキャンプinあま(5泊6日)
 - 開村式、オリエンテーション
 - テント設営、かまど作り、竹クラフト
 - ロープワーク、いかだ作り
 - いかだ航海
 - 海遊び
 - 撤収、閉村式
- 大満寺山教育キャンプ村(宿泊数設定自由)
 - ※原則として利用団体がプログラム
 - 【体験可能なプログラム】
 - 基本的なキャンププログラム
 - 竹クラフト
 - 沢登り(3時間)
 - 山頂登山(3時間)
 - グリーンアドベンチャー(1時間)
 - 大自然ハイキング(5、6時間)

問い合わせ先

- 海士町教育委員会
TEL 085 14-2-1222
- 隠岐の島町教育委員会
TEL 085 12-2-2126



効果

- 豊かな心が育つ。
- 想像力や感性が豊かになる。
- 学校・家庭・地域の連携が深まる。
- ふるさとを愛する心が育つ。

実践方法

- 読書会
 - 学校、家庭、地域が連携協力し、集団読書や読み語りを行う活動。
- 合同子ども読書会
 - 各地区の子ども読書会が読書を通じて交流を行う活動。



事例紹介等

- ◆桜江町読書普及協議会 子ども読書推進部
 - 5地区に分かれて行う読書会
 - 読み聞かせ
 - 紙芝居
 - 地元の民話紙芝居づくり
 - カルタ会
 - 等
 - 地域とのふれあい交流会
 - 高齢者との交流活動
 - クリスマス会
 - 七夕会
 - 等
 - サマーシアター（全地区合同読書会）
 - ペープサート
 - 大型絵本の読み聞かせ
 - エプロンシアター
 - 腹話術
 - 等

※大東町子ども読書会においても、同様に地域での読書会が盛んに行われています。

問い合わせ先

- 桜江町読書普及協議会
TEL 0855-92-0129

●参考となるHP
子どもの読書活動推進ホームページ
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/
島根県学校図書館協議会ホームページ
<http://www.commakagi.ne.jp/tosyokan/>

- 大東町子ども読書会
TEL 0854-43-6131

効果

- 子どもたちが地域活動に参加しやすくなる。

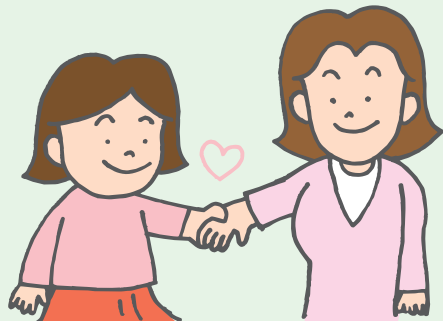
実践方法

●内容について

公民館が、地域の子どもを対象とした様々な活動のスケジュールと幼・小・中学校の年間行事とタイアップさせ、事業の連携を図る。

●方法

幼・小・中学校の年間行事計画及び月予定表の中に活動日を明記し、「雲南市家庭の日」の第3日曜日と「遊学加茂チャレンジスクール」のある第4土曜日は部活動等の活動を原則休止してもらおう。



実践例

●加茂町
(ポイント)

- ◎年度始めに、小・中学校代表(教頭)と公民館で日程調整をする。
- 学 校…児童生徒に、参加してみたい講座を聞く。
- 公民館…児童生徒が希望する講座のボランティアを探す。※一人の希望であっても開講する努力をする。
結果、スケジュールの調整をしたことが無駄にならず、沢山の児童生徒が地域活動に参加することができる。

(実施例)

- 福祉探検隊…福祉施設で、お年寄りの方と一緒に話をしたり、ゲームをしたりして交流している。
- 保育士トライ…幼稚園で小さな子の活動を手助けしたり一緒に遊んでいる。
- 日本の心…お茶をたてたり、野に咲く花を生けて日本の心を学んでいる。

問い合わせ先

- 雲南市
加茂公民館
TEL 0854-49-8380

効果

- 学校にとっては「高い教育効果と地域の方との交流」が、公民館の講座で学んだ人にとっては「子どもの育成と地域づくりへの参画」が期待できる。

実践方法

● 内容について

公民館が、公民館で学んだ人の知識や技能を、学校の授業に生かすコーディネートをする。

- 公民館…学校と地域を結ぶ役割をしながら、地域づくりに役立てる。
- 地域…子ども達に教えることが、生きがいとなり、更なる学習意欲が湧いてくる。
- 学校…教員の事務負担の軽減を図り、質の高い学習効果、地域の方との交流を目指す。



実践例

● 出雲市荒木コミュニティセンター

- 公民館…学校と、公民館で学ぶ人たちとの日程を調整する。先生とボランティアの間に入り、打ち合わせ会の企画をし、改善点や課題があれば検討する。
- 地域…学校の依頼内容に合わせ、指導者の分担、道具や材料を準備する。
- 学校…年間計画作成、授業内容や予算について検討する。支援内容を明確化する。

(実施のポイント)

- 学校はボランティアに授業のどの部分をお願いしたいのか、はっきりさせる。任せっぱなしはダメです。
- 公民館はボランティアの方の授業の感想を聞く機会を設ける。ボランティアの思いをどのように学校に伝えるのが腕の見せどころです。
- 関係者は子どもの視点に立って、それぞれの思いを伝え合うことが大切です。

問い合わせ先

- 出雲市荒木
コミュニティセンター
TEL 0853-53-5440



効果

- ふるさとに愛着を持ち、自分の住む地域を大切にしようとする心を育てる。
- そこに関わる周囲の人たちの思い、願いを知ることによって地域の一員としての自覚が育つ。
- 環境保全に関わることで様々な人たちの考えに触れることができる。

実践方法

- 地域にある川、山、海などにおいて清掃活動をする。
- 地域に生息する動物、植物の状況調査を行う。
- 清掃活動をとおり、ゴミがどのように捨てられているか、どのように廃棄すればよいか(リサイクル)学習する。
- 調べたことを、公民館等の施設で発表し、環境への関心を高める。



事例紹介等

- 下意東地区子どもエコクラブ
 - 地域の大人と一緒に地域内の清掃を行ったり、川や海の水質検査をしたりする。
 - 環境学習で学んだ事柄を公民館で地域の方に発表する。
 - 高校生サポーターと協力して活動する。
- コアラッチキッズ
 - 廃油でキャンドルづくり。
 - エコドライブキャンペーンの実施。
 - エコバックづくり。
 - 植林の活動。
 - 日常生活における省エネの実践。

※県環境政策課HPにエコクラブ情報あり。
<http://www.e-shimane.net/ecoclub>

問い合わせ先

- 下意東地区子どもエコクラブ
 (東出雲町社会福祉協議会内 星野)
 TEL 0852-52-6294
- コアラッチキッズ
 (NPO法人 コアラッチ)
 TEL 090-9704-6616



効果

- 安全に安心して、遊べる「子どもの居場所」で、多様な大人や子どもと関わりながら遊ぶことで、社会性や主体性が育つ。
- 地域の子どもを地域で育てる気運が高まる。

実践方法

放課後や休日に、学校の余裕教室や公民館等を活用し、地域の大人の力を結集して、子どもたちが自由に遊んだり、いろいろな体験や交流を行ったり、ホッと心安らいたりする「子どもの居場所」を開設します。

(開設・運営のポイント)

- 関係者が十分に連携し、「地域の子育て・子育て」について共通理解を図り、課題に応じて開設や運営を行います。
- 活動の中心となる調整役(コーディネーター)がボランティアの配置や活動場所の調整、活動内容の検討などを行います。
- 「何かをしても、何もしなくてもいい。」という姿勢で、会場や子どもの実情に応じて回数や内容を決めます。
- 実施する場所の制約はありませんが、活動や行き帰り等の安全確保について十分に配慮しましょう。

実践例

- 松江市「古志原子ども広場」
より身近な地域に「子どもの居場所」を、という要望から、地域の集会所でも開催。民生委員さんや保護者の方もボランティアとして参画しています。自由遊びが中心。
- 浜田市「まちの縁側」
自宅の一部を開放しています。おやつ作りをしたり、工作をしたりと、子どもたちは自由に過ごし、スタッフはその自発的な活動を見守ります。
- 参考となるHP
http://www.pref.shimane.lg.jp/culture/kyoiku/syougai/ibasho_dukuri/
(島根県内の「子どもの居場所」の事例集です)
<http://www.ibasyo.com/>
(文部科学省の「子どもの居場所づくり」ページです)

問い合わせ先

- 松江市教育委員会
教育総務課
TEL 0852-55-5311
- 浜田市教育委員会
生涯学習課
TEL 0855-22-2612
(内線457)





効果

- 早寝、早起きの習慣を身につけることができる。
- 朝食を食べることの意義を実感することができる。
- 地域の協力者に感謝の気持ちを持つ。

実践方法

- 事業実施団体による事前準備
(教育委員会、公民館、民間団体等)
- 参加者の募集
(地域の学校への呼びかけ)
- 事前研修会の開催
(スタッフ研修会)
- 事業の実施
- 事後研修会の開催
(スタッフ反省会、点検評価)



事例紹介等

- 五箇地区冬期体力作り教室(寒稽古)
※毎年1月末から2月はじめの1週間。
 1. 初日：五箇町民体育館に集合
開級式、早朝ランニング
 2. 2日目～6日目
 - (1) 寒稽古(6:30～7:30)
種目：柔道、剣道、ジョギング
スポンジテニス、卓球
サッカー
 - (2) 朝食(7:30～8:00)
五箇生涯学習センター大会議室
調理：地域ボランティア
 3. 最終日
 - (1) 寒稽古、納会(6:30～8:15)
 - (2) 朝食兼餅会食(8:15～9:00)
 - (3) 閉級式(9:00～9:30)
 ※2～6日目は朝食後、学校へ登校。

問い合わせ先

- 五箇地区冬期体力作り
教室実行委員会
(隠岐の島町立五箇公民館内)
TEL 085 12-5-9011



効果

- 地域の自然や食材に関心が高まる。
- 親子のふれあいの中で、食や生活習慣への関心が高まる。

実践方法

地域の方をボランティア指導者として、地元の食材を使った、親子での調理体験を行います。
(山菜を探して野草天ぷらづくり・木の実のジャム作り・イカの裁き方教室・親子で簡単な朝ご飯作りなど)

(実施のポイント)

●企画や募集の方法

PTAや子ども会で企画。指導を地域の方(老人クラブや婦人会など)に依頼する。

●安全管理等

野外活動が伴う場合、実施場所等の事前確認を行う。(安全面のほかトイレや水道の場所)

実践例

●親子で簡単朝食クッキング
(雲南市教育委員会)

市内の小学4、5年生の児童とその保護者を対象に、給食センターの栄養士の指導で、朝食の大切さを学んだり、簡単な朝食づくりを行う。

親子のふれあいを深めながら、朝食の大切さを学ぶ。

●親子体験イカさばき教室
(西ノ島町美田小学校PTA)

地元のボランティアの方を指導者に招き、PTA活動の一環として親子でイカのさばき方を学習・体験する。

身近な食材でも、実際にさばく体験は少ない。



問い合わせ先

●雲南市教育委員会
生涯学習課

TEL 0854-40-1073

●西ノ島町立美田小学校

TEL 085 14-6-0717



効果

- 昔から親しまれている童謡や唱歌を後世へ唄い継ぎます。
- 豊かな心を養い、ふるさとへの誇りと愛着心を育みます。

実践方法

地域ごとの合唱サークルなどの活動に加え、広域の「童謡を歌う会」をつくり、子どもたちを交え童謡や唱歌を地域全体で歌う気運を高めます。

- 歌集を作成し、活用する。
- サークルや仲間同士などで童謡や唱歌を歌って楽しむ。
- 活動拠点の近隣にある幼稚園、小学校や、子どもの居場所で童謡や唱歌を通じた交流をする。
- イベントなどを開催し、参加者と童謡や唱歌を歌い交流し、地域の活性化につなげる。

実践例

- 雲南市民で童謡を歌おう会（雲南市）

- たくさんの市内の合唱サークルが童謡や唱歌を通じて交流しながら、歌を歌う楽しさや、童謡のすばらしさを伝えます。
- イベント等では構成員が一同に会し、「ふるさと」や「里の秋」などの童謡や唱歌を参加者と一緒に合唱します。
- 合唱フェスティバルなどのコンサートも開催し、地域全体で気運の醸成を図ります。

問い合わせ先

- 雲南市教育委員会
生涯学習課
TEL 0854-40-1073





効果

- 環境問題を考えるきっかけとなる。
- 清掃作業を通じ社会性を培う。

実践方法

親子等で海岸清掃を行い、海を越えてやってくる漂着ゴミを産地や種類ごとにわかる範囲で分類し、環境問題を考えるきっかけとします。



実践例

● 浜田海洋少年団

6月の環境保全推進月間に併せ、浜田市熱田海岸で海岸清掃と漂着ゴミ調査を行う。

浜田海上保安部や地元の保育園等とも連携して実施する。

● 浜遊自然館

湊原海岸周辺に漂着したゴミを収集・分別することによって、ゴミの産地や種類を知り、環境問題を考えるきっかけとしている。

(プラスチック・金属・ガラス類・木材類などに分類し、産地がわかるものは産地(国)別に分類する。)

問い合わせ先

● 浜田市海洋少年団

(長浜公民館内)

TEL 0855-27-4614

● 浜遊自然館

(出雲市大社町)

TEL 0853-53-5080





効果

- 伝統文化を通して、ふるさとに愛着を持ち、自分の住む地域を大切にしようとする心が育つ。
- 伝統文化をとおり、そこに関わる周囲の人たちの思い、願いを知ることによって地域の一員としての自覚が育つ。
- 周囲の人と関わることで様々な考えに触れ、ネットワークを広げることができる。

実践方法

- 郷土に古くから残る伝統文化を、地域の方から学ぶ。
- 継承した伝統文化を地域に披露する。
- 新しい芸能を創設し、引き継ぐことで町のシンボルを自分たちで創り出す。



実践例

- 浜田市内子ども神楽社中
 - 神楽の習得だけでなく、社中の大人、小学生と一緒に田植え体験なども行う。
 - 子ども神楽フェスティバルに参加するなど県内外で公演を行う。
- 邑南町日貫郷土芸能保存会
 - 田植え囃子、虫送り、奉納等の伝統行事の指導を地域の大人から受ける。
 - 祭り等で披露する。
- 掛合太鼓保存会
 - 過疎化が進む中、町のシンボルとして掛合太鼓が創設された。
 - 保存会の他、キディーズ(保育園児)キッズ(小学生)ジュニア(中学生)の取組がある。
 - 学校の教育活動に取り上げられるなど地域に浸透している。県内外で講演活動を行う。

問い合わせ先

- 浜田市観光協会
TEL 0855-24-1085
 - 邑南町日貫郷土芸能保存会
(邑南町町民課)
TEL 0855-95-1114(森田)
 - 掛合総合センター
(自治振興課)
TEL 0854-62-0300(高橋)
- ※それぞれの地域で伝統文化伝承が行われている。



効果

- 昔の人の生活に思いをはせて、ふるさとへの誇りや愛着が高まる。

実践方法

- ボランティアスタッフが中心となって、昔の日常生活などを体験する。
- 千歯こきやとうみなど昔の農具を使った体験や、はがまを使った炊飯実習、はた織り機を使った実習を行う。



事例紹介等

- 昔のくらし体験講座
美保関歴史・生活体験資料館
 - 主に市内の小学生を対象に、昔のあそびや昔の食生活など美保関歴史・生活体験活動推進協議会のボランティアスタッフが指導して実施する。
 - 昔の農具や漁具などを展示し、総合的な学習の時間などの学習の場として、参考にする。

- *昔のあそびを体験しよう
- *竹とんぼづくり
- *海水で塩づくり
- *はた織りの体験
- *千歯こきによる脱穀体験
- *わら草履づくり
- *トコロテンづくり

など

問い合わせ先

- 松江市美保関支所
地域振興課
TEL 0852-55-5740

